

## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月31日

上場会社名 積水化成品工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4228 URL https://www.sekisuikasei.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古林 育将  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 佐々木 勝巳 TEL 03-3347-9618  
 配当支払開始予定日 -  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	31,960	△5.4	262	—	221	△57.3	311	149.5
2025年3月期第1四半期	33,792	9.8	△220	—	517	—	124	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △961百万円 (—%) 2025年3月期第1四半期 △1,352百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	6.85	—
2025年3月期第1四半期	2.75	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	135,096	48,708	35.5
2025年3月期	136,238	49,670	35.9

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 47,947百万円 2025年3月期 48,911百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	3.00	—	0.00	3.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	65,000	△5.9	200	153.2	0	—	△1,500	—	△32.99
通期	114,000	△16.8	1,800	180.7	1,400	—	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	46,988,109株	2025年3月期	46,988,109株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,525,782株	2025年3月期	1,525,782株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	45,462,327株	2025年3月期1Q	45,373,762株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
(4) 研究開発活動 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等の注記) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の世界経済におきましては、ウクライナ、中東情勢を巡る地政学的リスクが継続し、依然として不確実性の高い状況が続いております。更に米国政権による関税政策の強化が世界貿易に影響を及ぼし、経済活動への下振れリスクが顕在化しています。自動車産業では、米国市場での駆け込み需要が見られるものの、関税政策の影響により日本からの輸出は伸び悩みました。また中国を含むアジアではEV車の急速な普及と市場再編が進み、欧州では依然として自動車市場の回復が遅れています。エレクトロニクス関連では、テレビ・モニター用途の在庫調整による影響はありましたが、全体としては堅調に推移しました。

日本経済においては、雇用環境の改善やインバウンド需要の増加により回復基調を示していますが、為替・株式市場の不安定な動向、物価高騰などにより、先行きの不透明感が続いています。また、企業活動における環境課題への対応は更に重要性を増しています。

発泡プラスチック業界では、食品容器関連の需要は物価上昇の影響で伸び悩みましたが、環境を意識した食品容器等の製品は堅調に推移しました。工業関連の各種部材、梱包材は低調に推移しました。

このような経営環境のなか、当社グループは、本年度からスタートさせた3カ年中期経営計画「Going Beyond 2027～変革と完遂～」の基本方針に従い2つの重点課題に対してグループ全体で取り組んでおります。

『収益力の強化』においては、収益改善の大きな課題であった欧州子会社Proseatグループの株式譲渡契約を2025年6月12日に締結し、現在、譲渡に向けて競争法に関する当局の承認手続きを進めております。本件を含め、今後も更にスピードを上げて経営資源の選択と集中による事業ポートフォリオの再構築に取り組んでまいります。

『経営基盤の強化』においては、収益性や資本効率の向上を図るべく新たに事業評価プロセスを導入するなど資本コストを意識した経営を推進しております。また「環境・社会課題解決に向けた取り組み」における持続可能な社会の実現に向けた活動の一環として、当社グループが2030年度までに達成する目標の一つである「CO<sub>2</sub>排出量の削減」に注力しており、2022年度に設定した目標「2018年度比27%削減」を、より高い水準である「同45%削減」へと引き上げ、積極的かつ着実に進めております。

売上面は、ヒューマンライフ分野において、食領域の食品容器用途では省資源素材などの環境貢献製品が需要増、住環境・エネルギー領域も都市開発工事に伴う需要を取り込み順調に推移しました。インダストリー分野においては、エレクトロニクス領域で「テクポリマー」のライティング・塗料用途、「テクノゲル」のゲルロールが伸長したものの、液晶パネル搬送資材用途の需要減少とモビリティ領域での欧州市場低迷や関税の影響などにより、全体として前年を下回りました。

利益面においては、グローバルにおける労務費の高騰のほか、原料価格や為替変動の影響を受けたものの、販売価格への転嫁、原価低減や固定費の削減など収益改善に取り組み、前年を上回りました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は319億6千万円（前年同期比5.4%の減少）、営業利益は2億6千2百万円（前年同四半期は2億2千万円の損失）、経常利益は2億2千1百万円（前年同期比57.3%の減少）となりました。特別損益では、国内子会社の固定資産の譲渡による有形固定資産売却益7億1千3百万円、Proseatグループの譲渡契約締結に伴うアドバイザーフィーなどの諸費用2億9千8百万円を含む特別損失4億5千4百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億1千1百万円（前年同期比149.5%の増加）となりました。

以下、各セグメントの業績は次のとおりであります。

## &lt;ヒューマンライフ分野&gt;

ヒューマンライフ分野の売上高は129億2千3百万円（前年同期比4.9%の増加）、セグメント利益は5億6千7百万円（前年同期比382.9%の増加）となりました。

食領域	「エスレンシート」
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパー向け食品容器用途の出荷数量は前期並を推移。</li> <li>・省資源素材などの環境貢献製品や納豆容器の出荷数量は好調。</li> <li>・即席麺用途の需要は回復傾向で出荷数量は好調。</li> </ul>
	「エスレンビーズ」
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産用途は天候の影響により出荷数量は低調。</li> <li>・水産用途は漁獲量減少から鮮魚向けは低調に推移。養殖向けも低調。</li> <li>・各地域の生協でリサイクル原料を使用したRNWの採用が進む。</li> </ul>

住環境・エネルギー領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建材関連資材は断熱材が好調に推移。</li> <li>・土木関連資材はE P Sブロックで工事物件の納入が重なり売上は前年を上回る。</li> <li>・下水道工事などで使用されているF Jリングは採用が進み好調。</li> </ul>
-------------	--

※エスレンシート：発泡ポリスチレンシート

※エスレンビーズ：発泡性ポリスチレンビーズ

#### <インダストリー分野>

インダストリー分野の売上高は190億3千6百万円（前年同期比11.3%の減少）、セグメント利益は3億6千9百万円（前年同期比40.3%の減少）となりました。

モビリティ領域	<p>「自動車部材用途」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上は、日本で新モデルの量産遅れがあるも、北米での好調や価格改定効果もあり、全体では好調に推移。</li> </ul> <p>「部品梱包材用途」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上は、南東アジア地域で需要回復の兆しがあるも、全体的に需要が低迷し、低調に推移。</li> </ul> <p>「FRP部材ならびに関連資材」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上は、トラック・バス向けが好調で、前年をやや上回る。</li> </ul> <p>「Proseatグループ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欧州市場の自動車生産台数が前年を下回り、赤字継続。</li> </ul>
エレクトロニクス領域	<p>「ピオセラン」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・液晶パネル搬送資材用途は他素材への切替による減少があり、全体では前年をやや下回る。</li> </ul> <p>「テクポリマー」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスプレイ用途は顧客での在庫調整影響で減少も、ライティング・塗料用途の需要が伸長し、全体では好調に推移。</li> </ul>
医療・健康領域	<p>「エラスティル」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロテクティブスニーカー向けの需要減少に伴い、低調に推移。</li> </ul> <p>「テクノゲル」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲルロールの北東アジア向けが好調、医療用途の需要も回復基調で、全体では好調に推移。</li> </ul>

※ピオセラン：ポリスチレン・ポリオレフィン複合樹脂発泡体

※テクポリマー：ポリマー微粒子

※エラスティル：熱可塑性エラストマー発泡体

※テクノゲル（S T - gel）：機能性高分子ゲル

※FRP部材：繊維強化プラスチック部材

#### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、11億4千2百万円減少し、1,350億9千6百万円となりました。資産の部では、原材料及び貯蔵品の減少などにより流動資産が3億4千5百万円減少しました。

負債の部では、電子記録債務の減少などにより1億8千万円減少し、863億8千7百万円となりました。

純資産の部では、為替換算調整勘定の減少などにより9億6千2百万円減少し、487億8百万円となりました。自己資本は479億4千7百万円となり、自己資本比率は35.5%となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況については、営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増減額の増加などにより4億4千5百万円の収入（前年同四半期は6億8千5百万円の支出）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の売却による収入の増加などにより、3億4千3百万円の収入（前年同四半期は11億3千1百万円の支出）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純増減額の減少などにより前年同期に比べ7億1千3百万円支出が増加し、9億2千7百万円の支出となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第1四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べて、1億4百万円減少し、90億2千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の第2四半期(累計)および通期業績予想は、2025年5月9日公表数値からの変更はありません。  
Proseatグループに関する株式譲渡契約締結に基づく譲渡は、欧州当局の承認手続き等を経て第2四半期に実行し、その時点で売却損失等を計上する予定ですが、当該数字は、既に業績予想に織り込んでおります。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループ全体の研究開発活動の金額は6億6千3百万円であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,587	9,280
受取手形、売掛金及び契約資産	26,174	26,541
電子記録債権	8,539	8,197
商品及び製品	8,700	8,634
仕掛品	1,496	1,812
原材料及び貯蔵品	5,153	4,676
その他	3,966	4,132
貸倒引当金	△26	△29
流動資産合計	63,592	63,246
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,727	13,536
機械装置及び運搬具(純額)	11,337	11,125
土地	21,113	20,672
その他(純額)	3,188	3,693
有形固定資産合計	49,367	49,026
無形固定資産		
その他	1,847	1,780
無形固定資産合計	1,847	1,780
投資その他の資産		
投資有価証券	12,579	12,199
退職給付に係る資産	7,154	7,180
その他	1,774	1,739
貸倒引当金	△77	△77
投資その他の資産合計	21,431	21,041
固定資産合計	72,646	71,849
資産合計	136,238	135,096

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,026	16,457
電子記録債務	7,848	7,375
短期借入金	22,429	19,963
未払法人税等	1,188	800
賞与引当金	1,116	630
役員賞与引当金	6	17
その他	8,223	9,242
流動負債合計	56,839	54,487
固定負債		
社債	7,000	7,000
長期借入金	9,649	12,128
退職給付に係る負債	4,174	4,144
製品補償引当金	57	57
その他	8,846	8,570
固定負債合計	29,728	31,899
負債合計	86,567	86,387
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	16,533	16,533
資本剰余金	16,377	16,377
利益剰余金	10,270	10,581
自己株式	△1,230	△1,230
株主資本合計	41,950	42,261
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,520	6,259
土地再評価差額金	1,421	1,421
為替換算調整勘定	△926	△1,935
退職給付に係る調整累計額	△54	△59
その他の包括利益累計額合計	6,960	5,685
非支配株主持分	759	761
純資産合計	49,670	48,708
負債純資産合計	136,238	135,096



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	33,792	31,960
売上原価	27,544	25,388
売上総利益	6,248	6,572
販売費及び一般管理費	6,468	6,309
営業利益又は営業損失(△)	△220	262
営業外収益		
受取利息	12	9
受取配当金	196	212
為替差益	788	—
その他	62	61
営業外収益合計	1,060	282
営業外費用		
支払利息	259	241
為替差損	—	6
固定資産除売却損	9	31
その他	52	44
営業外費用合計	322	323
経常利益	517	221
特別利益		
有形固定資産売却益	—	713
特別利益合計	—	713
特別損失		
減損損失	16	155
支払手数料	—	298
特別損失合計	16	454
税金等調整前四半期純利益	501	480
法人税等	373	166
四半期純利益	127	314
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	124	311

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	127	314
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△752	△260
為替換算調整勘定	△741	△1,008
退職給付に係る調整額	13	△5
その他の包括利益合計	△1,480	△1,275
四半期包括利益	△1,352	△961
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,355	△963
非支配株主に係る四半期包括利益	3	2

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	501	480
減損損失	16	155
減価償却費	1,475	1,259
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	0
受取利息及び受取配当金	△208	△221
支払利息	259	241
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△434	△485
製品補償引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
退職給付に係る資産負債の増減額	△9	△47
固定資産除売却損益 (△は益)	5	△683
売上債権の増減額 (△は増加)	△835	△87
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△107	202
仕入債務の増減額 (△は減少)	△209	△5
その他	△374	208
小計	69	1,016
利息及び配当金の受取額	208	221
利息の支払額	△248	△241
損害保険金の受取額	2	3
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△718	△554
営業活動によるキャッシュ・フロー	△685	445
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,065	△1,093
有形固定資産の売却による収入	3	1,251
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
貸付けによる支出	△2	△1
貸付金の回収による収入	7	1
その他	△74	186
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,131	343
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,800	△1,543
長期借入れによる収入	2,200	4,100
長期借入金の返済による支出	△3,534	△3,219
配当金の支払額	△434	△0
非支配株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	△242	△262
財務活動によるキャッシュ・フロー	△213	△927
現金及び現金同等物に係る換算差額	△242	34
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,273	△104
現金及び現金同等物の期首残高	10,867	9,128
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,594	9,024

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ヒューマンライフ 分野	インダストリー 分野	計		
売上高					
日本	12,317	5,674	17,992	—	17,992
チェコ	—	3,594	3,594	—	3,594
ドイツ	—	3,105	3,105	—	3,105
その他欧州	—	4,452	4,452	—	4,452
アジア	7	3,230	3,237	—	3,237
その他	—	1,410	1,410	—	1,410
顧客との契約から生じる収益	12,324	21,467	33,792	—	33,792
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,324	21,467	33,792	—	33,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	106	68	175	△175	—
計	12,431	21,536	33,967	△175	33,792
セグメント利益	117	618	736	△218	517

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△218百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△222百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 各セグメントに属する主要な製品の名称

- ・ヒューマンライフ エスレンビーズ、エスレンシート、エスレンウッド、インターフォーム、セルペット  
分野——— これら成形加工品、ESダンマット、エスレンブロックなど
- ・インダストリー ピオセラン、ライトロン、ネオマイクロレン、テクポリマー、テクノゲル、  
分野——— テクヒーター、エラスティル、フォーマック、ST-LAYER、  
ST-Elevat、これら成形加工品など

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ヒューマンライフ 分野	インダストリー 分野	計		
売上高					
日本	12,906	5,673	18,579	—	18,579
チェコ	—	3,213	3,213	—	3,123
ドイツ	—	2,992	2,992	—	2,992
その他欧州	—	3,283	3,283	—	3,283
アジア	17	2,587	2,604	—	2,604
その他	—	1,286	1,286	—	1,286
顧客との契約から生じる収益	12,923	19,036	31,960	—	31,960
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,923	19,036	31,960	—	31,960
セグメント間の内部売上高 又は振替高	53	30	83	△83	—
計	12,977	19,067	32,044	△83	31,960
セグメント利益	567	369	936	△715	221

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△715百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△715百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 各セグメントに属する主要な製品の名称

- ・ヒューマンライフ エスレンビーズ、エスレンシート、エスレンウッド、インターフォーム、セルペット  
分野—— これら成形加工品、ESダンマット、エスレンブロックなど
- ・インダストリー ピオセララン、ライトロン、ネオマイクロレン、テクポリマー、テクノゲル、  
分野—— テクヒーター、エラスティル、フォーマック、ST-LAYER、  
ST-Leaveat、これら成形加工品など

4. 表示方法の変更

前第1四半期連結累計期間において「その他欧州」に含めて表示しておりました「チェコ」は、前連結会計年度より連結損益計算書の売上高において重要性が増したため、独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間については、変更後の区分にて組み替えて表示しております。